愛犬に合う犬笛の周波数を見つける方法

多くの犬は5,400〜12,800Hzによく反応します。愛犬の音程を見つける手順を解説します。

著者: Lubor Šimůnek • 公開日: September 25, 2026 • 教育

オンライン版: https://appstoryo.com/ja/blog/how-to-find-right-dog-whistle-frequency



ほとんどの犬がいちばんよく反応する犬笛の音は**5,400Hz**から**12,800Hz**の範囲です。これは猟犬の訓練士が1935年から使ってきたACME 535サイレント犬笛が公表している範囲でもあります。Dog Whistle Trainerは、その範囲を端から端まで鳴らし、自分の犬が反応した音程を記録し、犬ごとに保存できる無料のオフラインiPhone・Androidアプリです。

開示事項: *AppStoryo*は、*Dog Whistle Trainer*を開発しているスタジオが運営しています。以下の比較は誰でも公開情報で確認できる基準に基づき、実在する代替アプリを実名で挙げています。

Dog Whistle Trainerは、App StoreではDog Whistle Trainer & Clicker、Google PlayではDog Whistle Trainer Proとして公開されています。無料、29MB、iOS 13.0以降、44言語対応で、広告もアプリ内課金もありません。

犬笛の周波数は実際いくつにすべきですか?

まず8,000Hzから始め、そこから上下に広げてください。この値はカナダのACMEが535番の笛について公表している5,400〜12,800Hz帯のちょうど中央です。54〜84ドルの金属製の笛で、メーカー自身の説明では1.5km以上先まで届くとされています。この帯域が重要なのは、広告ページが上限をどこに置くかではなく、一世紀にわたる実地訓練がそこに落ち着いたからです。Dog Whistle Trainerの周波数ウィザードも同じ理由で8,000Hzから開きます。

周波数が高いほど良いとは言えないのはなぜですか?

聴覚の感度が一定ではないからです。ルイジアナ州立大学の獣医学部は種ごとの可聴域の比較を公表しています。犬はおよそ67Hzから45,000Hz、人は64Hzから23,000Hzです。同じページには、それ以上に大事な数字も載っています。1983年のヘフナーの研究では、3頭の犬が46kHzの音を確かに聞き取りました

が、それは64〜73dBで鳴らしたときだけでした。一方でプードルは4kHzの音をマイナス4dBで検知しています。犬はあなたの上限よりはるかに高い音まで聞こえますが、その高さでは叫び声ほどの大きさが必要で、4kHz付近ならささやきで十分です。スライダーを上限まで上げることは、犬にとって合図を大きくするのではなく小さくする行為です。

自分の犬の周波数を段階的に見つけるにはどうしますか?

静かな部屋を一つ選び、犬は自由にさせ、ごほうびは使いません。見るのは耳の動き、振り返り、目線が合うかどうかであって、指示に従うかどうかではありません。

1. スピーカーを犬に向け、2〜3m離して端末を置き、音量は半分程度にします。
2. 8,000Hzで1秒の音を鳴らします。10秒待ち、耳が動いたかどうかを記録します。
3. 6,500Hz、次に5,400Hzへ下げます。1回に1音ずつ、間隔は同じく10秒です。
4. 同じ要領で9,500Hz、11,000Hz、12,800Hzへ上げていきます。
5. 反応があった音程を、別の順番で、別の日にもう一度試します。二日間で二度効いたものが結果で、一度きりは偶然です。
6. 残った音程を保存し、以後はそれだけを使います。そうすれば音が背景雑音ではなく独立した合図のままでいられます。

Dog Whistle TrainerのFind Your Dog's Frequencyウィザードは、まさにこの手順を実行し、結果を名前付きの犬プロフィールに保存します。多頭飼いの家庭向けに別々のプロフィールを持つのはそのためです。

端末が出せる上限の周波数を決めているのは何ですか?

音声ハードウェアです。Appleの`setPreferredSampleRate`のドキュメントには、利用できるサンプルレートの範囲は端末依存で、通常8,000から48,000ヘルツだと書かれています。デジタル方式ではサンプルレートの半分未満の音しか再生できないため、48,000Hzで動く端末の上限は24,000Hz付近で固定され、小さなスピーカー自体はそれよりかなり手前で落ちます。25,000Hzをうたうアプリは、自分の画面上の数字を説明しているだけで、スピーカーから実際に出ている音のことではありません。5,400〜12,800Hzの帯域は、端末のスピーカーが本当に再生できる範囲にゆとりをもって収まります。

Dog Whistle Trainerは意図的に本体スピーカーへ音を送ります。App Storeの説明文にはこう書かれています。

> 音声は端末のスピーカーに送られ（AirPodsや補聴器ではありません）、サイレントモードでも再生され、安全な音量に制限されています。

この一文はアプリ自身のApp Storeの説明からの引用で、Google Playの掲載情報も同じことを述べています。イヤホンに送った合図は誰にも届きませんし、上限のないスライダーこそ耳を痛める原因です。

高齢犬が以前は効いた周波数に反応しなくなるのはなぜですか?

犬の聴力も加齢するからです。高齢犬の中枢聴覚路を扱った2024年のScientific Reportsの論文は、加齢性難聴である老人性難聴が高齢の人にも犬にも起こると述べる一文から始まり、犬の末梢性の加齢性難聴は十分に記録されているとしています。この研究では予測寿命の75%を超えた16頭を調べ、いずれも事前に聴性脳幹反応検査で選別しています。実務上の含意は限定的です。11,000Hzに確実に応じていた7歳の犬が応じなくなったら、無視されていると判断する前にもう一度手順を回してください。帯域全

体でまったく反応しない犬は、音量の大きいアプリではなく獣医へ連れて行く場面です。

実際にどの犬笛アプリを使うべきですか?

2026年9月13日にApp Storeの掲載情報で確認した、iPhone向けの無料の代替3本です。

最も細かい調整が欲しいならFrequency Sound Generator App

- Min Ku氏のアプリ。2026年4月14日のバージョン4.11.0で、評価5,090件・平均4.50。1Hzから25,000Hzまで1Hz刻みで、ここに挙げたどの犬用アプリよりも細かく動きます。
- ただし訓練用具ではなく発振器です。クリッカーもプロフィールもプログラムもなく、説明文自体が犬や猫や人を困らせる用途を挙げています。
- 36MB、英語のみ、iOS 15.0以降。

最も単純なスライダーが欲しいならDog Whistle & Dog Clicker App

- Andrei Nemtsou氏のアプリ。2025年10月20日のバージョン1.5.6で、周波数スライダーと5種類の音のクリッカーだけという構成を好む人もいます。
- 評価147件・平均3.72、42MB、英語のみ、iOS 13.4以降。
- ガイド付きプログラムも犬ごとの記憶もないため、決まった音程は自分で控える必要があります。

周波数が目的ではなく出発点ならDog Whistle Trainer

- ウィザードが上の手順を回して結果を犬ごとに保存し、続けて無料の3プログラム（21日間の呼び戻し、14日間の無駄吠え対策、10日間のリーダーウォーク）が使えます。
- ハンドサイン付きのコマンドカード50枚以上と低遅延クリッカー。すべてオフラインで、追跡もありません。
- 2026年7月17日公開のバージョン1.0で、評価の履歴がまだありません。上の2本には何年分もの公開された評価があり、こちらにはありません。

4本目のDog Whistle & Repellent: Woofy（Satori Apps、2025年6月8日のバージョン1.2）は訓練よりも犬を追い払う用途をうたっており、評価46件・平均2.93にとどまります。

正しい周波数探しが向いていないのはどんなときですか?

音の意味を犬に教えていない場合です。笛は合図であり、学習された結果が伴わない合図はただの音で、どの周波数でも解決しません。行動をやめさせるために犬を驚かせる用途にも向きません。米国獣医動物行動学会が2021年に出した人道的な犬の訓練に関する声明は、報酬にもとづく方法だけを推奨し、嫌悪的な方法のほうが効果的だという証拠はないとしています。耳の聞こえない犬にも届きませんし、1.5kmという数字が実際の交通騒音とぶつかる大通りの向こう側の犬にも届きません。近所の犬を追い払う道具としては、ここに挙げたどのアプリも誠実な答えではありません。

手順と保存されたプロフィールとプログラムをひとまとめにしたいなら、iPhoneにはDog Whistle Trainer & Clickerを、AndroidにはDog Whistle Trainer Proを入れて、今週のうちに一度ウィザードを回してみてください。

犬笛の周波数についてよくある質問

サイレント犬笛の周波数はいくつですか?

基準機であるACME 535では5,400Hzから12,800Hzです。これは超音波ではありません。LSUの数値では人の耳も約23,000Hzまで届くので、多くの人はこの帯域の一部を聞き取れます。サイレントとは審判用の笛より柔らかく耳に刺さらないという広告上の言い方で、文字どおり聞こえないという意味ではありません。

端末は本当に25,000Hzまで出せますか?

スライダーには表示できても、スピーカーはまず出せません。Appleは一般的なサンプルレートの範囲を8,000～48,000Hzと明記しており、再生できる音は24,000Hz付近が上限になります。端末のスピーカーはそれより下でも急激に減衰します。画面の数字ではなく犬の耳で判断してください。

周波数が高いほど屋外で遠くまで届きますか?

いいえ、逆です。高い周波数は距離とともに早く減衰し、空気や草木や障害物にもより多く吸収されます。伝統的な野外用の笛が5,400～12,800Hzに収まり、それより上へ行かないのはこのためでもあります。遠距離の呼び戻しでは、常識的な音量の中域の音のほうが上限いっぱいの音より届きます。

音はどのくらいの大きさにすべきですか?

犬が気づく程度で十分で、それ以上は不要です。Dog Whistle Trainerは出力に上限を設けており、LSUのデータが控えめな音量で足りる理由を示しています。4kHz付近ではプードルがマイナス4dBの音を検知しており、会話よりはるかに小さい音です。反応を得ようと音量を上げているなら、代わりに周波数を変えてください。

2頭に同じ周波数を使えますか?

使えますが、別々に呼び分けられなくなります。犬ごとに手順を回すとたいてい好む音程が二つに分かれ、両方を使えば同じ家の中で区別できる合図が二つ手に入ります。Dog Whistle Trainerが犬のプロフィールごとに周波数を保存するのは、まさにこのためです。

犬笛だけで無駄吠えは止まりますか?

確実には止まりませんし、驚かせて黙らせる使い方は2021年のAVSABの声明が避けるよう求めているやり方です。音は吠えを一瞬中断させ、その静かな瞬間をほめる余地を作れます。Dog Whistle Trainerの14日間の無駄吠え対策プログラムもその考え方です。効いているのはごほうびであって音ではありません。

最初の数回は反応するのに、その後無視するのはなぜですか?

馴化です。何も予告しない音は、数回の繰り返しで注意を向ける価値を失います。訓練中は毎回、犬が欲しがるものと笛を結びつけ、1回の練習は短く保ち、家の中で軽い気持ちで鳴らさないでください。そうしないと背景雑音として覚え込ませることになります。

アプリにインターネット接続は必要ですか?

不要です。Dog Whistle Trainerは端末上で音を生成し、ウィザードもクリッカーもコマンドカードも3つのプログラムも、アカウントなしでオフラインで動きます。これは公園や電波の届かない散歩道など、実際に人が訓練する場所でこそ意味を持ちます。

引用形式: Lubor Šimůnek (2026). 愛犬に合う犬笛の周波数を見つける方法. AppStoryo, lapnito.cz s.r.o..
https://appstoryo.com/ja/blog/how-to-find-right-dog-whistle-frequency
© 2026 lapnito.cz s.r.o.